

情報公開用文書

(多機関共同研究用)

西暦 2026 年 4 月 20 日作成 第 2.0 版

研究課題名	がんを対象にした新規がん治療の作用メカニズム、免疫応答の変化を検討する多機関共同観察研究
研究の対象	研究機関の長の実施許可日から 2028 年 4 月の間に、1 年以内の健康診断において治療を要する異常を指摘されておらず、ビタミン剤や抗ヒスタミン薬、ごく一般的な胃腸薬以外の薬を 3 ヶ月以内に服用していない方で、同意書を取得時の年齢が 18 歳以上の方を対象とします。
研究の目的	がんは複雑な機序で、腫瘍免疫から逃避しています。オプジーボなどの免疫チェックポイント阻害薬の登場で、がんの治療は一変し、多くのがんに有効性を示しました。しかし、奏功を示す患者さんは限られていて、効果がない方も多いのが現状です。 当教室では、特定の周波数の交流磁場ががん細胞に対して抗腫瘍効果を持つことを発見しました。先行研究からその抗腫瘍効果のメカニズムとして、交流磁場ががん細胞の免疫に影響を与えていることが示唆されています。 また、同じく我々の先行研究により腫瘍の免疫には、Ca^{2+}とカルシウム関連蛋白が関与していることを発見しました。 そこで、交流磁場刺激やカルシウム関連蛋白をターゲットにした薬剤で、免疫細胞のがん細胞に対する攻撃力を高めることが出来れば、臨床で使われている薬剤の効果が上がるのではないかという発案に至りました。 よって本研究は、当教室で行っているがん治療の研究（Ca^{2+}シグナルや、交流磁場）への免疫の関与を明らかにし、がん治療に応用することを目的としています。
研究の方法	この研究の参加期間は、1 日です。この研究への参加に同意いただきますと、研究のために採血を 30ml/回を 1 回採取させていただきます。 この研究では、血液の免疫細胞について調べます。採血を行い、その血液から PBMC、T 細胞を分離し、がん細胞株と一緒に培養することで、がんが免疫に攻撃されるために必要な条件を調べます。
研究期間	研究機関の長の許可日 ～ 西暦 2028 年 10 月 1 日
研究に用いる 試料・情報の 項目	【試料】本研究に同意していただいた方より以下の試料を収集します。 対象となる方の血液を使用します。 【情報】以下の情報を収集します。 背景情報：年齢、性別、既往歴、内服中の薬
試料・情報の 授受	本研究では、「研究組織」に記載されている各機関で上記の試料・情報を収集します。 本研究では検体の授受は行いません。 集積された情報及び検体の解析結果については、「共同研究機関」と共有します。 情報は、各機関で USB 等の記録メディアにパスワードをかけた状態で保存し、各機関へ研究代表機関の担当者が出向き、直接受け渡しを行います。また、集積された情報と検体の解析結果を共同研究機関と共有する際も同様の方法で提供します。

情報公開用文書

(多機関共同研究用)

	情報（本研究に関する文書及び記録を含みます）については、保管期間は少なくとも本研究の終了について報告された日から 5 年間もしくは当該研究の結果の最終の公表について報告された日から 3 年を経過した日のいずれか遅い日までの期間とします。 また共同研究機関に共有された情報も、上記と同様の期間保管します。 廃棄する際は、個人を特定できないように処理した上で検体は各機関の規定等に従って廃棄し、情報は復元できない方法で廃棄します。
個人情報の管理	試料・情報は、個人名など単体で個人を特定できる情報を削除し、研究用の番号（識別コード）で管理します。必要時に個人を照合できるよう管理する表（以下、対応表）を作成して、識別コードから個人を特定することが可能になりますが、その対応表は各機関で管理し、外部へ持ち出すことはありません。上記の通り研究に関わる機関の間で検体や情報の授受が発生しますが、当該機関以外の人間が個人を特定することはできません。
試料・情報の管理について責任を有する者	【研究代表機関に集積された検体・情報の管理】 当院の個人情報の管理責任者は医学研究科長ですが、その責務を以下の者に委任され管理されます。 研究代表者：顎顔面口腔機能制御学 光藤 健司 【対応表の管理】 共同研究機関の責任者（「研究組織」の欄をご覧ください。） 【共有された情報の管理】 共同研究機関の責任者
利益相反	利益相反（conflict of interest）とは、研究成果に影響するような利害関係を指し、金銭及び個人の関係を含むものです。本研究の計画、実施、発表に関して可能性のある利益相反はありません。本研究は、横浜市立大学顎顔面口腔外科学および東京慈恵会医科大学分子生理学講座が計画し実施する臨床研究であり、製薬会社をはじめ、他の団体からの資金的援助に基づいて行われるものではありません。また、この研究に関わる医師等と研究に関連のある特定の企業との間に開示すべき利益相反関係はありません。 本研究は、横浜市立大学顎顔面口腔機能制御学の基礎研究費及び、東京慈恵会医科大学分子生理学講座の国立研究開発法人科学技術振興機構創発的研究支援事業「交流磁場の持つ抗腫瘍効果のメカニズム解析とがん治療への応用」の研究費を用いて行います。
研究組織 (利用する者の範囲)	【研究代表機関と研究代表者】 横浜市立大学 顎顔面口腔機能制御学 （研究代表者）光藤 健司 【共同研究機関と研究責任者】 東京慈恵会医科大学 分子生理学講座 （研究責任者）梅村 将就
本研究に関するご質問・ご相談等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。 ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますので下記連絡先までお申出下さい。 また、試料・情報が当該研究に用いられることについて研究の対象の方もしくはその代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも研究の対象の方に不利益が生じることはございません。ただし、拒否のお申し出をいただい	

情報公開用文書

(多機関共同研究用)

た段階で既に研究結果が公表されていたときなど、データから除けない場合があります。

問合せ先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒105-8461 東京都港区西新橋 3 丁目 25 番 8 号

東京慈恵会医科大学 分子生理学講座 (研究責任者) 梅村 将就

(問い合わせ担当者) 吉見 尊仁

電話番号：03-5400-1200 (代表) FAX：03-3431-3827 (講座)